

韓国語能力試験問題のことわざ

鄭 芝淑

1. はじめに

ことわざは日常の言語生活において重要な役割を果たすものであり、昔から受け継がれてきた重要な文化的遺産である。そこには庶民の知恵、価値観、人生観、世界観、教訓、道徳などが、巧みな譬えを用いたりあるいは諧謔精神を込めて面白おかしく語られている。母語教育において文化遺産と言うべきことわざを教えることが有意義であることは言うまでもない。伝統的なものが失われつつあることを考えれば、ことわざ教育の必要は非常に大きい。また、外国語教育において、ことわざは外国語の背景にある価値観を理解するための効果的な素材である。Mieder (1995) は、「文化リテラシー」の尺度の一つとしてことわざの役割に注目し、当該文化の理解に必要な最も常識的なもの、「ことわざミニマム」を選んで、これを外国人に対する言語教育に応用することを提案している。

韓国のことわざ教育に関する研究や提案は多くはない。最近のものを挙げると、召영자 (2002) は、中国人に対する韓国語教育という前提で、教えるべきことわざについて論じている。それによれば、教育用のことわざ数は 100 件 (活用用のことわざ 70 件、理解用のことわざ 30 件) 程度が適当であるとし、レベル別に初級用 20 件、中級用 40 件、高級用 40 件を提示している。それらは韓国語教材に出ていることわざから選んだものであるが、選定の基準として①使用頻度が高いもの、②使用状況に簡単に接することができるもの、③中国人がよく使う表現に対応するもの、④学習者の発達段階に適切なもの、などを挙げている。また、韓国語のことわざ教育の問題点として、①初級段階ではことわざ教育がなされていないこと、②教材によって同じレベルでもことわざの数と種類が一致していないこと、③意味の提示方法が単純であること、④用法が具体的に提示されていないこと、などを指摘している。また、이종철 (1999) は、教育用ことわざの選定基準と形態的特徴に基づくことわざの指導方法とを論じている。選定基準としては、

鄭 芝淑

①使用頻度が高いもの、②使用範囲が広いもの、③基本的意味が元のまま維持されているもの、④学習者の発達段階（レベル）に合うもの、などを提示している。これは国語教育ばかりでなく外国語としての韓国語教育にも適用できる部分があると論じている。

ことわざ教育の実態やあり方についての研究はあまりなされていないけれども、ことわざは韓国語教育の素材として使われている。学校教育の国語の教科書にはことわざが必ず含まれているし、外国語としての韓国語の教材にも重要なことわざが取り上げられている。また、1997年に始まった「韓国語能力試験」でも必須の出題素材として規定されている。

本稿では第1の目的として、これまで「韓国語能力試験」に出題されたことわざを詳細に調査し、どのようなことわざがどの程度、どのような形で出題されたかを分析する。さらに、第2の目的として、出題されたことわざが鄭（2004a）のPSリスト¹においてどのような位置を占めるかを検討する。それを通じて、ことわざ教育におけるPSリストの有用性を論じる。

2. 「韓国語能力試験」とことわざ

2.1 「韓国語能力試験」

「韓国語能力試験」は、韓国教育課程評価院（KICE）が主催し財団法人韓国教育財団主管で実施される検定試験である。1997年に第1回が実施され、以後毎年1回実施され本年（2005年）で第9回を迎えた。試験の性格及び目的は次のよ

¹ PSリストとは、簡単に言えば、ことわざの重み付けリストである。その目的は、異なる文化のことわざの諸特徴を比較するためには、比較すべきことわざ群を画定しなければならない、という方法的な必要条件を満たすことにある。各言語のことわざは単なることわざの集合ではなく、よく知られよく使われるものから非常に特殊なものまで段階的に「重み」、すなわち、認知度、使用頻度、社会的重要性などの異なることわざの集合であると考えられる。つまり各言語のことわざは、「ことわざスペクトル」(Paremiological Spectrum)として捉えることができる。各言語のことわざスペクトルの同じ部分を切り取って比較しようという考え方である。ことわざの持つスペクトル的性格を反映したリストを「ことわざスペクトルリスト」(Paremiological Spectral List)略して「PSリスト」(PS List)と呼ぶ。鄭（2004a）では1980年以降に韓国と日本で出版されたことわざ辞典、ことわざ集それぞれ約30点を資料として、個々のことわざの記載があるかどうかを調査し、日韓それぞれのPSリストを作成した。どちらのリストも度数1から度数30までの30段階の重み付け区分を持っており、韓国のPSリストは約10,000件、日本のものは約9,000件のことわざで構成される。本稿で用いた韓国のPSリストは最新版(Ver. 2005)である。鄭(2004c, 2005)などで用いたVer. 2004に異形の処理などの調整を加えたものである。

うに規定されている。²

- ① 韓国語教育機関の研修、教育課程及び教育評価を標準化し、
- ② 韓国語を母国語としない外国人及び在外同胞に韓国語の学習方向を提示し、
- ③ 韓国語普及の拡大と共にその結果を韓国語学習、国内外大学への留学・就業などに活用できるようにする。

実施国数、会場数、受験者数などについての統計は発表されていないようであるが、いずれも年々増加していると思われる。KICE のホームページ (<http://www.kice.re.kr>) によれば、第 9 回は次の 25 ヶ国、62 ヶ所の会場で実施された。

韓国、日本、中国、モンゴル、タイ、*台湾、*フィリピン、*シンガポール、*バングラデシュ、*マレーシア、*ミャンマー、ベトナム、ロシア、カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタン、アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、*フランス、豪州、ブラジル、*パラグアイ、*アルゼンチン

このうち*を付けた 9 カ国は第 9 回から初めて実施される国である。

試験会場は日本が最も多く、19 ヶ所（札幌、東京、新潟、大阪、福岡、富山、岡山、沖縄、仙台、横浜、名古屋、広島、長野、京都、下関、千葉、大分、神戸、埼玉）で行われている。受験者数もおそらく日本が最も多い（2004 年（第 8 回）が 5,513 名）と思われる。

レベル（級）区分は、1・2 級（初級）、3・4 級（中級）、5・6 級（上級）の 6 段階であり、各級の内容は次のように規定されている。³

- 1 級：基本文型と基本語彙 1,000 語程度を用いた短い文を読んで理解し、簡単な挨拶言葉や頻度の高い慣用的表現が可能な程度
- 2 級：基礎的な韓国語を話し、読み、書くことができ基本語彙 1,500～3,000 語程度を用いた文章を理解し、簡単な対話が可能な程度
- 3 級：日常言語生活において語彙に不便がなく、よく使われる言葉、文章をゆっくり聞けば十分理解でき、短い文で意思伝達が可能な程度
- 4 級：日常言語の使用は充分可能で、電話での問題処理も可能、一般文書の構造はほとんど理解できる程度

² KICE 編（2004）『한국어능력시험문제（韓国語能力試験問題）』参照。

³ 日本人受験者のための案内書（2005 年版）による。

鄭 芝淑

5級：日常言語活動において不便がなく、文書（新聞記事、説明文、書簡等）テレビ・ラジオのニュース、平易な解説等理解し、自分の意見を述べられる程度

6級：高度な言葉、文書（新聞、雑誌、教養書、文芸作品等）やテレビ・ラジオ講演等の内容を充分理解し、文書又は言葉で正確に伝達でき、討議・評論で自分の意見を正確に述べられる程度

各級の内容を4つの領域（語彙・文法、書き、聞き取り、読み）に分け、「語彙・文法」と「書き」を【表現】試験、「聞き取り」と「読み」を【理解】試験で検定する。【表現】と【理解】の試験はそれぞれ90分で行われる。

2.2 「韓国語能力試験」におけることわざの位置づけ

KICE 編（2004）に各級の評価基準を定めている。ことわざについては4級から6級までの語彙・文法の領域で規定されているが、その部分を抜き出すと次の通りである。

4級：よく使われる慣用語とことわざを理解し、正しく使うことができる。

5級：一般的に使われる慣用語とことわざを理解し、正しく使うことができる。

6級：複雑な意味を持っている慣用語とことわざを理解し、正しく使うことができる。

各級とも同じパタンの規定になっているが、「よく使われる」「一般的に使われる」「複雑な意味を持っている」という表現の違いによって、素材とすることわざの程度を区別している。この評価基準によれば、ことわざの出題は4級以上の「語彙・文法」領域で行うことになっている。しかし、実際の問題を見ると、3級の問題にもことわざが出題されているし、「書き」「聞き取り」「読み」の領域でも出題されている。

2.3 出題されたことわざ

김영자（2002：pp. 44～47）は、第1回から第4回までの問題を調査し、出題されたことわざの件数を次のように報告している。

韓国語能力試験問題のことわざ

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
第1回	0	0	0	7	0	1	8
第2回	0	0	4	1	4	8	17
第3回	0	0	8	4	8	4	24
第4回	0	0	0	1	4	0	5
計	0	0	12	13	16	13	54

しかしながら、実際に試験問題を調べてみると、この数値にはいくつか事実と異なる点がある。ことわざと慣用句の線引きは明確ではないので必ずしも錯誤ということではないけれども、明らかに間違っている数値や、表と論文本体の記述との食い違いが見られる。しかも、第4回までのデータでしかない。そこで、最近の問題まで含めて再検討することにした。ただし、第1回の問題は現在入手できないため分析対象から除外した。その結果は次の表の通りである。

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
第2回	0	0	4	7	3	12	26
第3回	0	0	4	8	13	4	29
第4回	0	0	0	3	5	4	12
第5回	0	0	0	6	9	9	24
第6回	0	0	0	11	0	7	18
第7回	0	0	1	1	2	6	10
第8回	0	0	0	8	9	7	24
計	0	0	9	44	41	49	143

第2回から第8回までに出题されたことわざの延べ数は143件であるが、異なり件数としては98件である。

2.3.1 問題の種類

第2回から第8回までの試験で、何らかの形でことわざが関係する問題が64題出題されている。それらはいくつかの類型に分類できる。

ことわざを問うということは、特定のことわざとその意味・用法との結びつきを問うことである。したがって、ことわざに関する問題は、与えられた意味・用法に適することわざを問う問題(タイプA)と、逆にことわざを与えてその意味・用法を問う問題(タイプB)とに分けられる。そして、意味・用法の提示の仕方

鄭 芝淑

や解答の方法（多肢選択式か記述式か）などにより、それぞれの類型が下位区分される。この他に、特定のことわざの知識を直接問うのではなく、問題文の中にことわざが含まれていて、解答を得るために間接的にことわざの知識が必要であるという類型がある。これをタイプ C とする。出題された 64 問の問題を以上の類型別に分けて見ると、タイプ A 37 問（57.8%）、タイプ B 11 問（17.1%）、C タイプ 16 問（25.0%）となっている。また、領域別に見ると、

【表現】 44 問（68.9%）：語彙・文法 23 問（35.9%）、書き 21 問（32.8%）

【理解】 20 問（31.3%）：聞き取り 6 問（9.4%）、読み 14 問（21.8%）

のようになっている。

以下、出題例を示しながら、各タイプの下位区分を見ることにする。⁴

タイプ A：与えられた意味・用法に適することわざを問う問題（37）

タイプ A 1：穴埋め形式で文脈に適することわざを問う問題（多肢選択式）（25）

すべてのタイプの中で最も出題例の多いタイプである。最も問題の作りやすい形式であるが、ことわざを理解するにはそれが使われる文脈が重要であるということをしきりと押さえた出題形式である。

第 6 回 4 級【表現：語彙・文法】第 24 問

다음 () 에 알맞은 말을 고르십시오. (次の () に適する言葉を選びなさい。)

가: 그 회사에 취직하기가 아주 힘들다면서요? (その会社に就職するのがとても難しいんですって?)

나: 지원자들이 워낙 많아서 그 회사에 들어가기가 () 예요. (志願者が何しろ多くてその会社に入るのは () です。)

① 수박 껍질 훑기 (スイカの皮なめ) ② 쇠귀에 경 읽기 (牛の耳に経読み)

③ 하늘의 별 따기 (空の星取り) ④ 누워서 떡 먹기 (横になってお餅を食べる)

この例のように選択肢のすべてがことわざであるのが典型的な形式である。その他に、選択肢の一部がことわざである場合、選択肢の表現の中にことわざが含まれている場合などがあるが、煩瑣になるのを避けてこのタイプに一括した。こ

⁴ タイプの後の数字は出題数を表す。白抜き数字の選択肢は正答を表す。

これは以下のタイプについても同様である。

タイプ A 2: 穴埋め形式で文脈に適することわざを問う問題 (記入式) (4)

第3回4級【表現: 語彙・文法】第16問

다음 대화 내용에 알맞은 속담을 쓰십시오. (次の対話内容に適することわざを書きなさい。)

가: 이렇게 좁은 곳에 자동차를 잘 세우셨네요. (こんなに狭い所に車をよくお止めになりましたね)

나: 십 년 쯤 운전하면 이 정도는 () 예요. (十年くらい運転すればこのくらいは () です。)

正答: 식은 죽 먹기 (冷めたお粥を食べる) / 누워서 떡 먹기 (横になってお餅を食べる) / 땅 짚고 헤엄치기 (地に手ついて泳ぐ)

記入式は多肢選択式に比べて難しいと考えられるが、これまで出題された4問はすべて4級の試験での出題である。しかも、第3回には2問が連続して出題されている。問題別の正答率が発表されていないので推測に過ぎないけれども、正答率は低いのではないかと思われる。もっとも、出題されたことわざは、上の3例の他には「금강산도 식후경」(金剛山も食後の景色)、「남의 떡이 커 보인다」(他人の餅の方が大きく見える)、「먼 친척보다 가까운 이웃이 낫다」(遠い親戚より近い隣の方がいい) などであり、いずれもよく使われ、また韓国語教材の中にもよく登場するものであるから、4級を受験する程度の学習者であれば、学習の過程で出会っている可能性が高いと思われるものである。

タイプ A 3: 与えられた意味に適することわざを問う問題 (4)

第6回4級【理解: 読み】第53問

.....

한 조사 결과에 따르면 사람들은 실수를 전혀 하지 않는 사람보다는 능력이 뛰어나지만 가끔 실수를 하는 경우도 있는 사람에게 더 호감을 느낀다고 한다. (ある調査結果によれば、人は失敗を全然しない者よりは能力が優れているのに時々失敗をする場合もある者により好感を感じるという。)

다음 중 밑줄 친 부분과 가장 관계 깊은 말을 고르십시오. (次のうち、下線部に最も関係が深い言葉を選びなさい。)

鄭 芝淑

- ① 아니 뎨 굴뚝에 연기 나랴? (焚かない煙突に煙が出るか?)
- ② 윗물이 맑아야 아랫물이 맑다. (上の水が澄んでいればこそ下の水が清い)
- ③ 원숭이도 나무에서 떨어질 때가 있다. (猿も木から落ちることがある)
- ④ 낮말은 새가 듣고 밤말은 쥐가 듣는다. (昼の話は鳥が聞き夜の話は鼠が聞く)

長文読解問題の一部として出題されているが、意味とことわざとを直結させる問題で実質的には単純な出題形式である。

タイプA4 : 与えられた文章の内容に合うことわざを問う問題 (1)

第3回5級【理解：読み】第45問

.....

어렸을 적부터 좋은 버릇을 키우는 훈련은 인격 형성을 위한 절대 불가결의 조건이 아닐 수 없다. (小さい時から良い癖を育てる訓練は人格の形成のための絶対不可欠の条件ではない。)

윗글에 알맞은 속담은? (上の文章に適することわざは?)

- ① 낫 놓고 기억자도 모른다. (鎌を前にして「の」字も知らない)
- ② 아닌 뎨 굴뚝에 연기 나랴. (焚かない煙突に煙が立つか)
- ③ 소 잃고 외양간 고친다. (牛無くして厩を直す)
- ④ 세 살 버릇이 여든까지 간다. (三歳の癖が八十まで行く)

出題例はこの1例しかない。長文読解問題の一部として出題されている。

タイプA5 : 音声で与えられた話や対話に合うことわざを問う問題 (3)

タイプA4と同じ形式であるが、聞き取り問題として出題されたものである。

第6回6級【理解：聞き取り】第23問

옛날 옛날에 동굴의 왕 사자가 감기에 걸려 하루종일 동굴에 누워만 있었다. (昔々に洞窟の王のライオンが風邪にひいて一日中洞窟に横になっていたんだ。)

.....

여우는 어떻게 했을까? 피 많은 여우는 사자의 질문에 태연하게 “저, 사자님! 저는 코감기에 걸려서 아무 냄새도 못 맡습니다.” 라고 이야기하고는 살아 나왔단다. (狐はどうしたんだろう。知謀に富んでいる狐はライオンの質問に平然と“あのう、ライオン様! 私は鼻風邪に引いて何の匂いも嗅げません。”と言って無事に立ち上がったんだ。)
정말 대단한 여우지. (本当にすごい狐だろう。)

韓国語能力試験問題のことわざ

이 우화를 듣고 얻을 수 있는 교훈과 같은 속담은 무엇입니까? (この寓話を聞いて得られる教訓と同じことわざは何ですか。)

- ① 산에 가야 범을 잡는다. (山に行ってこそ虎を捕まえる)
- ② 못된 송아지 엉덩이에 뿔난다. (でき損ない子牛お尻に角が出る)
- ③ 개구리 올챙이 적 생각 못 한다. (蛙がおたまじゃくしの時思い出せぬ)
- ④ 호랑이에게 물려가도 정신만 차리면 산다. (虎に啜え去られても気をつければ生きられる)

タイプB : ことわざを与えてその意味・用法を問う問題 (11)

タイプB1 : 与えられたことわざの意味を問う問題 (4)

第7回5級【理解:読み】第54問

.....

우리 속담에 “외갓집 들어가듯 한다.”는 말처럼 외손자들은 아무 거리낌이 없이 들어서자마자 뛰고 달리고 제 하고 싶은 것을 다 할 것이다. 외할머니, 외할아버지의 야단은 아랑곳하지 않고 저희들 마음대로 떠들고 노는 녀석들을 상상해 보면 지금부터 벌써 유쾌해지기만 한다. (われわれのことわざに「母の実家に入るようにする」という言葉のように外孫達は何も気にせずに入るやいなや走って回って自分のしたいことを全部するだろう。外お祖母さん、外お祖父さんの話に気にかげず自分達は勝手に騒いで遊ぶ孫達を思い出すと今からもう愉快になるだけだ。)

밑줄 친 ‘외갓집 들어가듯 한다’의 의미를 알맞게 설명한 것을 고르십시오. (下線の「母の実家に入るようにする」意味を正しく説明したものを選びなさい。)

- ① 아주 조심스럽게 들어간다. (とても気をつけて入る)
- ② 아무 망설임 없이 들어간다. (何の躊躇なく入る)
- ③ 아무도 눈치채지 못하게 들어간다. (誰も気づかないようにして入る)
- ④ 예의를 잘 갖추고 들어간다. (礼儀をきちんと整えて入る)

長文読解問題の一部として出題されているが、タイプA3と同様、意味とことわざとを直結させる問題であって実質的には単純な出題形式である。

タイプB2 : 与えられたことわざの用法が正しいかを問う問題 (6)

第4回5級【表現:書き】第35問

다음 중 속담을 잘못 사용한 것을 고르시오. (次のうち、ことわざの使い方が間違っているものを選びなさい。)

鄭 芝淑

- ① 우리 속담에 '가는 말이 고와야 오는 말이 곱다'는 말이 있다. 다른 사람과 대화할 때 좀 더 신경을 써서 부드럽게 말해야겠다. (われわれのことわざに「往く言葉が美しければこそ還る言葉も美しい」という言葉がある。他の人と話をする時もう少し気を使って柔らかく話さなければならないだろう。)
- ② '세 살 버릇 여든까지 간다'는 말이 있듯이 어릴 적 습관이 중요함은 더 이상 말할 필요가 없다. (「三歳の癖八十まで続く」という言葉があるように小さい時の習慣が重要であることは言うまでもない。)
- ③ '고생 끝에 낙이 온다'는 말이 있지 않은가. 이 힘든 시기가 지나면 웃을 수 있는 날이 올 거라고 믿는다. (「苦勞の末に樂が来る」という言葉があるではないか。このつらい時期が過ぎれば笑える日が来るだろうと信じている。)
- ④ '세월이 쏜살같다'고 한다. 지난 시간을 모두 기억할 수 있는 게 아니라 특별한 것만 기억할 수 있기 때문에 그런 말이 나온 게 아닐까? (歲月は矢のごとし」という。過ぎた時間を全部記憶できるのではなくて特別なことだけが記憶できるのでそんな言葉が出たのではないだろうか?)

比較的よく出題される形式である。間違っているものを選べという指示形式が多少気になるが、正しいものを選べと指示したのでは間違った用法を多く提示しなければならないことを配慮したものであろう。上の例では選択肢のすべてにことわざが用いられているが、慣用句と混在させている場合が多い。

タイプB3 : 与えられたことわざと意味が同じことわざを問う問題 (1)

第2回6級【表現：語彙・文法】第5問

다음은 대학교 근처에 있는 하숙집에서의 대화입니다. 아래의 질문에 대답하십시오.(次は大学の近くにある下宿先での対話です。下の質問に答えなさい。)

하숙생 1 : 야, 우리 하숙비 올려 줘야 되는 거 아냐? (下宿生 1 : やあ、うち下宿費上げてあげなきゃいけないのではないの。)

하숙생 2 : ㉠아닌 밤중에 홍두깨라고 웬 하숙비 인상? (下宿生 2 : 暗闇に砧杵って何の下宿費の値上げ?)

.....

㉠ 아닌 밤중에 홍두깨와 비슷한 뜻을 갖는 것은? (暗闇に砧杵と類似の意味を持っているのは?)

- ① 소 잃고 외양간 고친다. (牛を失くして厩を直す)
- ② 낮말은 새가 듣고 밤말은 쥐가 듣는다. (昼の話は鳥が聞き夜の話は鼠が聞く)
- ③ 자다가 봉창 두드린다. (寝ぼけて明かり窓を叩く)

- ④ 떡 줄 사람은 생각하지도 않는데 김치국부터 마신다. (お餅をあげる人は考えもしないのにキムチ汁から飲む)

ことわざの中には同じ意味のものがあることはよく知られている。しかし、同じあるいは類似の意味を持つことわざのすべてが能力試験の素材として適しているとは限らないため、このタイプの形式には自ずから限界がある。過去の試験では上の1例しか出題例がない。この例は、問題文のことわざ「아닌 밤중에 홍두깨」も正答選択肢のことわざ「자다가 봉창 두드린다」もかなり意味が難しい。6級の問題であれば妥当であろうが、中級レベルではこの形式の問題は作りにくいと思われる。

タイプC：解答を得るために間接的にことわざの知識が必要である問題 (16)

タイプCには、ことわざが問題とどのように係わっているかによって様々な種類の問題があるが、問題の類別が本稿の主な目的ではないので下位分類はしない。

次のような例は、特定のことわざの知識に比較的依存する問題である。

第7回3級【理解：読み】第39問

다음 글을 읽고 () 에 알맞은 것을 고르십시오. (次の文を読んで () に適するものを選びなさい。)

‘세 살 적 버릇이 여든 간다’는 우리 속담에서도 알 수 있듯이 () 은 아주 중요하다. 어릴 때 부터 물건을 아껴 쓰면 어른이 되어서도 자연스럽게 절약하는 생활을 하게 되기 때문이다. 그러므로 어린이들에게 연필이나 공책을 아껴 쓰는 등 가까운 일부부터 실천하도록 가르치는 것이 좋다. (「三歳の時の癖が八十まで行く」というわれわれのことわざからでも分かるように () はとても重要である。小さい時から物を節約して使えば大人になっても自然に節約する生活をするようになるからである。だから子供達に鉛筆やノートを節約して使うなど近いことから実践するように教えるのがいい。)

- ① 속담을 배우는 것 (ことわざを習うこと)
- ② 어른들이 돈을 아껴 쓰는 것 (大人達がお金を節約して使うこと)
- ③ 버릇없는 아이를 교육하는 것 (礼儀のない子供を教育すること)
- ④ 어릴 때부터 절약 습관을 기르는 것 (小さい時から節約の習慣を育てること)

「세 살 적 버릇이 여든 간다」ということわざの意味がわかっているならば正答を得やすいけれども、全然わからなかったとしても括弧の後ろの部分の意味が分かれば正答が④であることは分かる。したがって、出題者の意図はともかく、純粋に

鄭 芝淑

ことわざを問う問題とはみなせない。

次の出題例は、さらにことわざからの距離が遠い問題である。

第4回4級【表現：書き】第57問

밑줄 친 부분에 알맞은 말을 쓰십시오. (下線の部分に適する言葉を書きなさい。)

가: 내일 행사 준비는 다 되었어요? (明日の行事の準備はもう終わりましたか。)

나: 네, 어제까지 확인한 결과로는 모든 준비가 다 끝났습니다. 아무 걱정 마십시오.
(はい、昨日まで確認した結果ではすべて準備が終わっています。何の心配もいらないです。)

가: 그래도, 돌다리도 두들겨 보고 건너라고 했듯이 _____ (でも、石
橋も叩いて渡れって言われるように _____)

나: 네, 다시 한 번 꼼꼼히 확인해 보겠습니다. (はい、もう一回細かいところまで確認しま
す。)

正答例: 다시 한 번 확인해 보세요. (もう一回確認してみてください)

下線部の直前の「돌다리도 두들겨 보고 건너라」の部分がことわざであるが、
正答を得るためには、下線部の直後の部分の方がはるかに重要なヒントになっ
ている。

また、次のように、特定のことわざが問題の素材になっているのではなく、こ
とわざの機能に関する文章が読解問題の素材になっている出題もある。

第5回5級【理解・読み】第43問

() 에 알맞은 말을 고르십시오. (() に適することばを選びなさい。)

□□□□ □□□□ □□ □□ □□ □□□□ □□ □□□□□□, □□ □□ □□
□ □□□ □□□□□□ □□ □□ □□□□□□ □□□ □□. □□□□ □□□□ □
□□ □□ () □ □□□ □□□ □□□ □□□□ □□□ □ □□□
□□ □□□ □□□ □□□□ □ □ □□. (伝統的なことわざが農耕社会と階級社会だけを主
に表現したとか、言語表現が現代的な感覚に衰えているなどの理由で外面される場合もある。それ
にもかかわらずことわざを通じて () 其中で時代を乗り越えた共感帯を形成でき
るという点はことわざが持っている力であるといえる。)

- ① □□□□ □□□□□ □□□□ □□□ □□ (動植物が主人公として登場して感動を与え)
② □□□ □□□ □□ □□□□ □□□ □□□□ (農民と状況が異なる都市人の疎外を表現
し)
③ □□□□ □□□ □□□ □□□ □□□ □□□□ (祖先の生活の知恵と処世の哲学を理
解し)

- ④ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ (時代的な事実を明らかにし客観的に吐露し)

明らかに、ことわざの知識を問う問題ではない。しかし、能力試験にことわざを出題することが韓国語におけることわざの重要性を説くためであるとすれば、この問題は十分な意義を持つものと考えられる。

3. 出題されたことわざの PS 度数

第2回から第8回までの「韓国語能力試験」に出題された 98 件のことわざがどの程度の「重み」を持つものであるかを、鄭 (2004a) の PS リストに照らして検討してみることにする。それぞれのことわざの出題件数と韓国のことわざの PS リスト (Ver.2005) における PS 度数を示すと次頁以下に掲げる表の通りである。

これを見ると、試験問題として出題されたことわざの大部分は PS 度数が高いもの、つまり「重み」のあるものであることがわかる。98 件のうち 70 件 (71.4%) は度数 20 以上 (PS リストの上位 300 件相当) であり、度数 15 以上 (PS リストの上位 600 件相当) のものだと 83 件 (84.7%) に上る。これは予想通りの結果である。PS リストは、注 1 に述べたように、ことわざの認知度、使用頻度、社会的重要性などを反映させていると考えられるものであり、外国人を対象とする韓国語能力試験の素材としてはその上位のものから選ばれるのは当然のことだからである。

能力試験の出題者が、どのような基準で出題の素材となることわざを選んだかについてはわからない。出版されていることわざ辞典のうちのどれかを参考にしているのかもしれないが、定評のある辞典は収録件数が 7,000 件を超えておりそれを参考にしたとは考えられない。おそらくは、出題者の直感的判断によって外国人学習者が知っているべきことわざを選んだものと思われる。だとすれば、その選択の結果が PS リストと本質的に一致するという事は、PS リストが外国語としての韓国語教育の素材を選定する上で有用であることを示していると解釈できよう。今後も、韓国語能力試験にことわざが出題され続けられると思われるが、どのことわざを出題すべきかを考えるとき PS リストがあれば大いに役立つと思われる。

鄭 芝淑

1/4	ことわざ	出題件数				PS 度数
		3級	4級	5級	6級	
1	□□ □□ □□ □□ □ □ □□		1			27
2	□□ □□ □□□	1	1			27
3	□ □ □□□ □□□□□ □□□ □□□ □□ □□□				1	27
4	□□ □□□ □□ □□□				2	27
5	□□ □ □□□ □□ □□		1	1	1	27
6	□ □ □□ □ □□□□ □□ □□				1	27
7	□□□ □□□ □□□ □□□ □□				1	27
8	□□□ □□□ □ □□ □ □□			1	1	26
9	□□ □□□				1	26
10	□□□ □□ □□ □□□ □□ □□□		1		2	26
11	□ □□ □□				1	26
12	□ □□ □□□□		1			26
13	□ □□ □□ □□□□				1	26
14	□ □□ □□□ □□□				1	26
15	□□□ □□ □□				1	26
16	□□ □ □□□				1	26
17	□□ □□ □□□ □□ □□ □□	1	1	1		25
18	□□□□ □□□		1			25
19	□□□□ □□□ □□ □□□	1	1		1	25
20	□ □□□□ □□ □□ □□□				1	25
21	□ □□ □□ □ □□				3	25
22	□□□ □□□ □□□ □□□				1	25
23	□□□ □□□ □□□□ □□		1			25
24	□□□□ □□□□				1	25
25	□□□ □□ □ □□ □□□ □□ □□□ □□	1				25
26	□□□□ □ □□□□		1	1	1	25
27	□ □□ □ □ □□ □ □□ □ □ □□		1		1	25
28	□□ □□ □□ □□				1	25
29	□ □ □□□				1	24
30	□□□ □□□ □□□ □□ □□ □□□				1	24

(日本語訳) 1. 枝の多い木に風のやむ日はない; 2. 燈台の下が暗い; 3. お餅をくれる人は考えもしないのにキムチ汁から飲む; 4. 信じていた斧に足の甲を突き刺される; 5. 焚かない煙突に煙が立つか; 6. 十回伐って倒れない木はない; 7. 天が崩れても這い出る穴はある; 8. 蛙がおたまたまじゃくしの時を思い出せない; 9. 掻いて吹き出物; 10. 昼の話は鳥が聞き夜の話は鼠が聞く; 11. 自分の鼻が三尺; 12. 地に手をつけて泳ぐ; 13. 足のない馬が千里に行く; 14. 牛を失くして尻を直す; 15. 玉にも瑕がある; 16. 井戸の中の蛙; 17. 往く言葉が美しければこそ還る言葉が美しい; 18. 金剛山も食後の景色; 19. 石橋も叩いて渡れ; 20. 言葉一つで千両の借金を返す; 21. 底の抜けた釜に水を注ぐ; 22. 書堂の犬三年で風月を詠む; 23. 上の水が清ければこそ下の水も清い; 24. 同じ値なら真紅のチマ; 25. 鐘路で殴られ漢江で当たり散らす; 26. 千里の道も一歩から; 27. 豆を蒔いた所に豆が生え小豆を蒔いた所には小豆が生える; 28. 言い訳のない墓はない; 29. 蟹の目を隠すように; 30. 肉は噛んでこそ味があり言葉は言ってこそ味がある

韓国語能力試験問題のことわざ

2/4	ことわざ	出題件数				PS 度数
		3級	4級	5級	6級	
31	□□□□□ □□		1			24
32	□ □□□□ □□□ □□□ □□		1			24
33	□□ □□□ □□□□ □□□				1	24
34	□ □□ □□□ □□				1	24
35	□ □ □ □□□ □□ □□	1		2		24
36	□□ □□□ □ □ □□□	1				24
37	□□□□ □□□□ □□□ □□ □□		1			24
38	□□ □□□ □□		1			24
39	□□□□□ □□□□ □□□ □□□ □□				1	24
40	□□ □□□ □□ □□□			1		23
41	□□□ □ □□		1			23
42	□ □□ □□□□ □□□		2	1		23
43	□□ □□ □□ □□□	1				23
44	□□ □□□□ □□ □□□	1				23
45	□ □□ □□ □ □□ □ □□□□			1		23
46	□ □□ □ □□		1	1		23
47	□□ □ □□		1			23
48	□□□ □			2		23
49	□ □ □□□			1	1	23
50	□□ □ □□ □□□				1	23
51	□□□ □□□□ □□□□ □□ □□□□				1	23
52	□□□□ □□ □□			1		23
53	□□□ □□ □□□□□				1	23
54	□□□□ □ □□□ □□	1	1			23
55	□□□ □□		2			22
56	□□ □□ □□□ □□ □□□			1		22
57	□□□ □ □ □□□				1	22
58	□□ □□□ □□□				1	22
59	□□□□ □□ □□□ □ □□ □□				1	22
60	□□□ □□□ □ □□		2			22
61	□□□□ □□ □□□			1	1	22
62	□□ □□ □□			1	1	22

(日本語訳) 31. 土鍋より醤油の味; 32. 遠い親戚より近い隣の方がいい; 33. でき損ないの子牛の尻に角が出る; 34. 生きている人の口に蜘蛛の巣が張ろうか; 35. 三歳の癖八十まで続く; 36. 笑っている顔に唾を吐くか; 37. 猿も木から落ちる時がある; 38. 小さい唐辛子が辛い; 39. 虎に啜え去られてもしっかりしていれば生きられる; 40. 行く棍棒に来る砧棒; 41. 日照りに豆ができるよう; 42. 鎌を前にして「フ」の字も知らない; 43. 升であげて斗でもらう; 44. 後ろに倒れても鼻が折れる; 45. 糞のついた犬が糞のついた犬をけなす; 46. 牛の耳に経を読む; 47. 西瓜の皮を舐める; 48. 始めが半分; 49. 安いのがおから餅; 50. 暗闇に砧棒; 51. おとなしい猫がかまどに先に登る; 52. 井戸でおこげ湯を探すように; 53. 寝ぼけて明かり窓を叩く; 54. 虎も自分の話をすればやってくる; 55. 行くほど泰山; 56. 耳にかければ耳がけ鼻にかければ鼻がけ; 57. 泥棒自分の足が痺れる; 58. 晴れた空から雷; 59. 忙しいといって針の腰に糸を通して使うか; 60. 腹より臍がもっと大きい; 61. 生半可な巫女が人を殺す; 62. 泣きながら芥子を食べる

鄭 芝淑

3/4	ことわざ	出題件数				PS 度数
		3級	4級	5級	6級	
63	□□□ □□□ □□ □□□ □□				1	21
64	□ □□ □□			1		21
65	□□ □□ □□ □□			1		20
66	□□□ □		1			20
67	□ □□□ □□□□			1	1	20
68	□□□ □□□□ □□□□ □□□□		1			20
69	□□ □□ □□ □□□				1	20
70	□□□ □□□ □□ □□□			1		20
71	□□ □□ □□ □ □□ □□		1			19
72	□ □□ □□□			1		19
73	□□□ □ □			1		19
74	□□□ □ □□		2		2	19
75	□□ □□ □□ □□			1		18
76	□□ □□ □ □□□		1	1		17
77	□□ □ □□		2			16
78	□ □□ □□ □□□				1	16
79	□ □□□ □ □□□			1	1	15
80	□□□ □ □□		4			15
81	□□ □□ □□			1		15
82	□□ □□□ □□ □□				1	15
83	□□□□ □ □□ □			1		15
84	□□□ □□□		1	1		13
85	□□□ □□□				1	12
86	□□□□		1		1	12
87	□□□ □□ □□□ □□ □□(□□ □ □□ □□ □□□ □□□ □□ □□)			1		10
88	□□ □□□□ □□□		1			10
89	□□□□ □□ □ □□□				1	8
90	□□□□ □□□□		1	1	1	5
91	□□ □□□□				1	5
92	□□□ □□□□			1		4
93	□□□ □□□□ □□			1		4
94	□□ □□ □□ □□□□		1			2

(日本語訳) 63. 船頭多ければ船が山に登る；64. 自分の目に眼鏡；65. 苦勞の末に楽が来る；
66. 絵の餅；67. 目を隠してニャーという；68. 目から遠くなれば心から遠くなる；69. 山に行っ
てこそ虎を捕まえる；70. 盲者が象の足をさわるように；71. 長いか短いかは比べてみれば分か
る；72. 蜂蜜食べた口の聞けない人；73. 知らないのが葉；74. 空の星を取る；75. よい葉は口に
苦い；76. 他人の餅の方が大きく見える；77. 冷めた粥を食べる；78. 舌の中に斧が入っている；
79. 裏と表がそれぞれ違う；80. 横になって餅を食べる；81. 話が種になる；82. 山が高ければこ
そ谷も深い；83. うつぶせになれば鼻の届く所；84. 歳月が葉だ；85. どんぐりの背比べ；86.
隣近所は四寸(親戚と同じ)；87. 人は長く付き合ってみてこそ分かる；88. 日が西から昇る；89.
近道を行くのが遠道だ；90. 急ぐほど回って行け；91. 苦勞を買って出る；92. 歳月が射た矢の
ようだ；93. 母の実家に入るように；94. 溜まった水は腐るものだ

韓国語能力試験問題のことわざ

4/4	ことわざ	出題件数				PS 度数
		3級	4級	5級	6級	
95	□□□ □□□			1		2
96	□□ □□□ □□□□		1			2
97	□□ □□ □□□□				1	1
98	□ □ □□□□ □□□ □□□		1			0
		9	44	41	49	143

(日本語訳) 95. 一言言えば三千里 (ツ一と言えばカー); 96. 災いは口から始まる; 97. 口に唾が乾くほど; 98. 豆一粒でも分けて食べる

ただし、PS リストはことわざの難易度を反映したものではない。度数が高いものより度数の低いものの方が理解しにくいというようなことを表すものではない。このことは、これまでに出题されたことわざの級別分布を見ても明らかである。度数の高いものほど低いレベルの試験に出题され、低いものほど高いレベルで出题されるというような傾向はまったく見られない。98 件のうち 23 件のことわざは複数の異なるレベルで出题されている。同じことわざを素材としても、出题の仕方によって難易度が異なることは言うまでもない。例えば、「아니 뎨 굴뚝에 연기 나라」(焚かない煙突に煙が出るか) は 4 級 (2002 年)、5 級 (1999 年)、6 級 (2001 年) の問題にそれぞれ 1 回ずつ取り上げられている。4 級と 5 級の出题例は、それぞれ、上の問題タイプの A3 と A4 の例として取り上げた。6 級の例は次の通りである。

第 5 回 6 級【表現：書き】第 40 問

() 에 알맞은 말을 고르십시오. (() に適する言葉を選びなさい。)

.....

두 부자는 부라부라 양반의 집으로 달려갔다. 그리하여 양반에게 빚 대신 양반 신분을 넘겨 달라고 흥정을 걸어 보았다. 양반은 속수무책이라 잡혀 갈 날만 기다리던 참이니, (). (二人の金持ちはあたふたと両班の家へ走って行った。そうして両班に借金の代わりに両班の身分を譲ってくれと交渉を持ちかけた。両班はお手上げで捕まえられる日を待ただけだったので、()。)

- ① ‘아니 뎨 굴뚝에 연기 날까?’ 의심하였다. (「焚かない煙突に煙が出るか?」と疑った)
 ② ‘이게 뎨 떡이나?’ 싶어 얼른 승낙하였다. (「これは何の餅だ?」と思って早く承諾した)
 ③ ‘말 한마디로 천냥 빚을 갚는다.’는 일이었다. (「言葉一言で千兩の借金を返す」ということだった)

鄭 芝淑

④ ‘돌다리도 두들겨 보라.’고 했다고 심사숙고했다. (「石橋も叩いて渡れ」と言われていると沈思熟考した)

これら3問を比べてみると、どれにも「아니 뎨 굴뚝에 연기 나라」ということわざが選択肢の中に含まれているが、すべて誤答選択肢である。つまり、少なくともこのことわざとは関係のないところで問題の難易度が決定されている。KICEの評価基準によれば、4級では「よく使われる慣用語とことわざ」、5級では「一般的に使われる慣用語とことわざ」、6級では「複雑な意味を持っている慣用語とことわざ」を素材とすることが規定されているけれども、実際にはその規定どおりに出題されていないことになる。

最後に、PSリストで度数の低いことわざが出題されている例について簡単に触れておこう。PSリストの度数10未満のものがこれまでに10件出題されている。これらのうち、「사서 고생한다」「세월이 쓴살같다」「외갓집 들어가듯 한다」「척하면 삼천리」「입에 침이 마르도록」「콩 한 쪽이라도 나누어 먹는다」などは慣用語的性格が強い表現である。評価基準では出題対象を「ことわざと慣用語」とまとめているので、これらはことわざとしてではなく慣用語として出題されているのかもしれない。PSリストはことわざ辞典の調査により作成されたものであるから、慣用語的性格の強い表現はことわざ辞典に収録されることが少ない。そのためリストでは下位に位置することになる。最も極端な例は「콩 한 쪽이라도 나누어 먹는다」で、PSリストの度数は0度数、つまり、これをことわざとして収録している辞典は一つもないということである。これを、本稿でことわざの出題例として挙げたのは、次のように問題文の中にこれがことわざであることを意味する文言が見られるからである。

第4回4級【理解：読み】第50問

.....

옛 어른들은 이런 마음 씀씀이로 ㉠콩 한 쪽이라도 나누어 먹는다는 □□□□ 남과 함께 사는 삶을 몸소 실천하며 사셨던 것이다. (昔のお年寄りたちは、このようは心遣いで㉠豆一粒でも分けて食べるということわざのように、他人と共に生きる生活を自ら実践して生きておられたのである。)

㉠의 의미는 무엇입니까? (㉠の意味は何ですか。)

- ① 남은 것 (残ったもの) ② 소중한 것 (大事なもの)

㉓ 사소한 것 (つまらないもの) ㉔ 맛있는 것 (美味しいもの)

この例が端的に示すように、ことわざと慣用句との区別は非常に難しい。度数 10 未満の出題例のうち、残りの「질러가는 길이 먼 길이다」「급할수록 돌아가라」「고인 물은 썩게 마련이다」「화는 입에서 비롯된다」は慣用句ではなく明らかにことわざ的な特徴（比喩性、教訓性、生活の知恵）を備えた表現である。これらには、ことわざとして知っていなくても比較的容易に意味が理解できるものであるという点で共通している。そのために、PS リストで上位のものでないにもかかわらず出題されていると考えられる。ちなみに、「질러가는 길이 먼 길이다」と「급할수록 돌아가라」は、日本の「急がば回れ」に対することわざである。日本のことわざの PS リストではこれは最高度数 30 のことわざであり、どのことわざ辞典にも載っているごくわずかな例の一つである。同じ意味のことわざの位置付けが日韓でこのように大きく異なるのは、それ自体興味ある事実である。国民性の違いが反映されているという解釈も成り立つと思われるが、少なくとも「급할수록 돌아가라」に関しては、日本の「急がば回れ」の翻訳であるという意識が働いているのではないかとも考えられる。また、「화는 입에서 비롯된다」についても同様の解釈が可能であるかもしれない。

4. 終わりに

以上、韓国語能力試験問題に出題されたことわざを分析した。出題されたことわざの 80%以上がPSリストの度数 15 以上を占めていることから、PSリストが試験問題の素材探しに有用であると考えられる。このことは、国語あるいは外国語としての韓国語の教材に関しても同様であろう。詳しい調査はまだ行っていないが、教材に登場することわざもその大部分は「重要な」ものであり、PSリストで上位を占めていると予測される。ことわざに関する問題や教材をさらに多様化し充実するためには、出題者や編纂者の直感に任せるのではなく、PSリスト（あるいは類似のリスト）を参照し、選択することが望ましい。ただし、PSリストは教育用の目的で作られたものではない。それは、比較ことわざ学の方法論の重要な道具立てとして作られたものである。分析の中でも述べたように、PSリストで上位のことわざほど易しく、下位のは難しいというわけではない。したがって、これを教育用に应用するためには、難易度や教育上の配慮などの別個の視点

鄭 芝淑

が必要であることは言うまでもない。また、ことわざは単なる知識にとどまらない。適切な場面で適切に使ってはじめてその効果を発揮するものである。したがって、どのことわざを教育の素材として選択すべきかだけではなく、どのように教えるかという視点も必要であろう。このことに関しては、「韓国語能力試験」の出題者が様々に工夫をしていることに対して敬意を表したい。

本稿の冒頭に述べたように、ことわざは先人の知恵が込められた文化遺産と言えるものである。教育を通じたその遺産の継承にPSリストが役に立てば幸いである。

参考文献

- Wolfgang Mieder (1995) *Paremiological Minimum and Cultural Literacy, De Proverbio*, Vol.1, No.1
- 이종철 (1999) 『속담의 형태적 양상과 지도 방법 (ことわざの形態的様相と指導方法)』 이회문화사 (イフェ文化社)
- 김영자 (2002) 『중국인 한국어 학습자를 위한 속담 교육연구 (中国人の韓国語学習者のためのことわざ教育の研究)』 경희대학교 교육대학원 석사논문 (慶熙大学校教育大学院修士論文)
- KICE (韓国教育課程評価院) 編 (2004) 『한국어능력시험 문제 (韓国語能力試験問題)』 1級~6級
- 鄭芝淑 (2004a) 「ことわざに関する対照研究の新しい試み」『多元文化』(名古屋大学大学院国際言語文化研究科国際多言文化専攻) 第4号
- (2004b) 「10分間想起式アンケートによる日韓のことわざ調査」『ことわざ』(ことわざ研究会) 第3号
- (2004c) 「日本と韓国のことわざ共感度調査」『ことばの科学』(名古屋大学言語文化研究会) 第17号
- (2005) 「日本と韓国のことわざ認知度」『多元文化』(名古屋大学大学院国際言語文化研究科国際多言文化専攻) 第5号